

設計内容説明書の記入方法について（2階建て以下の場合）

長期優良住宅・フラット35S等の申請時に添付する「設計内容説明書」の耐震等級に関する項目は、以下の記入例を参考としてご記入※ください。

- ※ 記載図書欄は、当該設計内容が記載されている図書を全てご記載頂く必要があります。
- ※ その他の項目につきましては、適宜、物件の実況に応じた数値・仕様をご記載頂く必要があります。
- ※ 記入方法についてご不明な点がございましたら、ご利用される評価機関様に直接お問合せください。また、評価機関様によっては、本記入例と異なる記入方法が必要となる場合もあります。

①長期優良住宅の記入例

認定事項等	確 認 項 目	設計内容説明欄			
		設計内容	記載図書	設計内容確認欄	
耐震性 1-1 耐震等級 (倒壊等防止) <input type="checkbox"/> 等級2 <input checked="" type="checkbox"/> 等級3	構造躯体及び基礎等	地震力及び風圧力	<input checked="" type="checkbox"/> 壁量計算による(階数が2以下の木造の建築物における基準) <input type="checkbox"/> 許容応力度計算による(ルート1) <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 伏図 <input checked="" type="checkbox"/> 計算書	
		基礎	<input type="checkbox"/> 許容応力度計算による <input checked="" type="checkbox"/> スパン表 (SS構造体バリュー-基礎仕様マニュアル) <input type="checkbox"/> その他 ()		
		構架材	<input type="checkbox"/> 許容応力度計算による <input type="checkbox"/> スパン表 () <input checked="" type="checkbox"/> その他 (スパン表に代わる構架材断面計算)		
		認定書等活用	<input type="checkbox"/> 認定書等の活用(第二面に記入)		
評価方法基準以外の基準	限界耐力安全限界変形の検討	<input type="checkbox"/> 限界耐力計算による <input type="checkbox"/> 各階の安全限界変形の基準に適合			
1-3 その他 (地震に対する構造躯体の倒壊等防止)	認定書等	認定書等活用	<input type="checkbox"/> 平成12年建設省告示第2009号第1第3号による免震建築物 <input type="checkbox"/> 免震層及び免震材料の維持管理に関する図書の作成 <input type="checkbox"/> 認定書等の活用(第二面に記入)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	

②住宅性能表示の記入例

必須項目		自己評価結果	評価方法	確 認 項 目	設計内容説明欄			
性能表示事項	項目				設計内容	記載図書	設計内容確認欄	
1 構造の安定	1-1 耐震等級 (倒壊等防止)	<input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 評価対象外	<input checked="" type="checkbox"/> 基準 <input type="checkbox"/> 特認 <input type="checkbox"/> 型式 <input type="checkbox"/> 認証	構造躯体及び基礎等	地震力及び風圧力	<input checked="" type="checkbox"/> 壁量計算による(階数が2以下の木造の建築物における基準) <input type="checkbox"/> 許容応力度計算による(ルート1) <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 伏図 <input checked="" type="checkbox"/> 計算書	
	1-2 耐震等級 (損傷防止)	<input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 評価対象外			基礎	<input type="checkbox"/> 建築基準法の規定による <input type="checkbox"/> 許容応力度計算による <input checked="" type="checkbox"/> スパン表 (SS構造体バリュー-基礎仕様マニュアル) <input type="checkbox"/> その他 ()		
	1-3 その他	<input type="checkbox"/> 免震 <input type="checkbox"/> その他			構架材	<input type="checkbox"/> 許容応力度計算による <input type="checkbox"/> スパン表 () <input checked="" type="checkbox"/> その他 (スパン表に代わる構架材断面計算)		
	1-4 耐風等級	<input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1			免震建築物	<input type="checkbox"/> 平成12年建設省告示第2009号第1第3号による免震建築物 <input type="checkbox"/> 免震層及び免震材料の維持管理に関する図書の作成		
	1-5 耐積雪等級	<input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 該当区域外			認定書等活用	<input type="checkbox"/> 認定書等の活用(第四面に記入)		
1-6 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法	設計内容説明欄と同様		(1-6) 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法	地盤又は杭の許容支持力等	<input type="checkbox"/> 地盤 [KN/m ²] <input type="checkbox"/> 杭 [] <input type="checkbox"/> 地盤改良有方法 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 調査書 <input type="checkbox"/>		
1-7 基礎の構造方法及び形式等				基礎の構造方法及び形式等	<input type="checkbox"/> 直接基礎 <input type="checkbox"/> 基礎の構造方法 (鉄筋コンクリート造) <input type="checkbox"/> 基礎の形式 () <input type="checkbox"/> 杭基礎 杭径 [m]	<input checked="" type="checkbox"/> 伏図 <input type="checkbox"/>		

③フラット35Sの記入例

□ I 耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)2又は3の基準に適合する場合

確認項目	設計内容説明欄			評価方法基準	記載図書	設計内容 確認
	項目	設計内容				
目標等級	目標等級	<input type="checkbox"/> 等級2 (通用倍率1.25倍) <input checked="" type="checkbox"/> 等級3 (通用倍率1.5倍)		1-1(2)㉑	<input checked="" type="checkbox"/> 壁量計算書 <input type="checkbox"/> 構造計算書 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適
計算方法	計算方法	<input checked="" type="checkbox"/> 壁量計算 ※ 階数が2階以下の場合のみに適用できます。 → 「壁量計算による確認項目」に記入してください。 <input type="checkbox"/> 許容応力度計算 <input type="checkbox"/> その他 ()				

壁量計算による場合の確認項目

※木造住宅工事仕様書「優良住宅取得支援制度」技術基準適合仕様確認書に記入した場合には、当該欄への記入は不要です。

耐力壁	筋かい耐力壁	種類 () 倍率 ()	1-1(3)㉑	<input type="checkbox"/> 住宅工事仕様書 <input type="checkbox"/> 構造伏図 <input checked="" type="checkbox"/> 壁量計算書 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> 仕上表	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適		
	木摺耐力壁	種類 () 倍率 ()					
	面材耐力壁	種類 () 厚さ (mm)					
	くぎ種類 () 倍率 ()						
準耐力壁等	木摺準耐力壁・腰壁等	種類 () 倍率 ()	1-1(3)㉑	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			
	面材準耐力壁	種類 () 厚さ (mm)					
	腰壁等	くぎ種類 () ぐき間隔 (mm) 倍率 ()					
壁量	性能表示で定める存在壁量	X軸方向	1階(cm)	2階(cm)	1-1(3)㉑ 表1	<input type="checkbox"/> 算入あり	
		Y軸方向					
	性能表示で定める必要壁量	X軸方向					
		Y軸方向					
床組・屋根面等	火打ち構面	種類 () 寸法 ()	1-1(3)ホ㉑	<input type="checkbox"/> 住宅工事仕様書 <input checked="" type="checkbox"/> 構造伏図 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> 仕上表 <input checked="" type="checkbox"/> 壁量計算書 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適		
	2階床面	面材の種類 () 厚さ (mm)					
		根太間隔 (mm) 工法 ()					
	小屋床面	くぎ種類 () 倍率 ()					
		面材の種類 () 厚さ (mm)					
	屋根面	根太間隔 ()					
くぎ種類 () ぐき間隔 (mm) 倍率 ()							
確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 存在床倍率≧地震に対する等級2又は3の必要床倍率		1-1(3)ホ㉑ 式1・式2				
接合部	下屋等の構架材の接合部	金物 ()	1-1(3)ホ㉑b	<input type="checkbox"/> 住宅工事仕様書 <input checked="" type="checkbox"/> 構造伏図 <input checked="" type="checkbox"/> 計算書 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> 仕上表	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適		
		仕口等 ()					
	胴差と通し柱の接合部	金物 ()				1-1(3)ホ㉑a	
		仕口等 ()					
確認方法	下屋等	1階・小屋組等の端部等	<input checked="" type="checkbox"/> 存在接合部倍率≧必要接合部倍率	1-1(3)ホ㉑b			
	構架材	その他の部分	<input checked="" type="checkbox"/> 存在接合部倍率≧0.7				
胴差と通し柱	<input checked="" type="checkbox"/> 評価方法基準による構造方法		1-1(3)ホ㉑a				
基礎	根入れ深さ	深さ (mm)	1-1(3)ホ㉑	<input type="checkbox"/> 住宅工事仕様書 <input checked="" type="checkbox"/> 基礎伏図 <input checked="" type="checkbox"/> 基礎詳細図 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> 構造計算書 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適		
	基礎の各部寸法	立上り部分 高さ (mm) 厚さ (mm)					
		底盤の寸法 厚さ (mm) 幅 (mm)					
	基礎の配筋	主筋 (mm)					
		標準部の補助筋 (mm)					
開口直下の補助筋 (径 mm)							
確認方法	<input type="checkbox"/> スパン表 (種類 日本住宅・木材技術センター) <input type="checkbox"/> 許容応力度計算 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (「SS構造体」レビュー基礎仕様マニュアルに準拠)		1-1(3)ホ㉑				
横架材	横架材の断面寸法 (最小～最大)	床大梁 (mm × mm 間隔)	1-1(3)ホ㉑	<input type="checkbox"/> 住宅工事仕様書 <input checked="" type="checkbox"/> 構造伏図 <input type="checkbox"/> 軸組図 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/> 構造計算書 <input checked="" type="checkbox"/> 横架材断面計算書	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適		
		床小梁 (mm × mm 間隔)					
		小屋梁 (mm × mm 間隔)					
		胴差 (mm × mm 間隔)					
	確認方法	根太 (mm × mm 間隔)	1-1(3)ホ㉑				
垂木 (mm × mm 間隔)							
確認方法	<input type="checkbox"/> スパン表 (種類 日本住宅・木材技術センター) <input type="checkbox"/> 許容応力度計算 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (スパン表に代わる横架材断面計算)		1-1(3)ホ㉑				
その他	確認事項	<input checked="" type="checkbox"/> 建築基準法施行令第3章第1節から第3節まで(令第39条及び第48条を除く。)の規定に適合		1-1(3)ホ㉑			

同法令に適合していることを確認の上でチェックしてください。

「耐震等級2・3」の評価方法について（2階建て以下の場合）

国土交通省告示
「評価方法基準」

本物件での評価の方法

1-1(3)ホ①:
軸組の確認

1-1(3)ホ②:
耐力壁線の確認

1-1(3)ホ③:
床組等の確認

1-1(3)ホ④:
接合部の確認

(財)日本住宅・木材技術センター発行「木造住宅のための住宅性能表示」の指針に準拠した計算にて評価しております。

1-1(3)ホ⑤:
横架材及び基礎の確認

横架材

次ページ参照

基礎

鉛直荷重(固定・積載・積雪荷重)、及び、水平荷重(地震力・風圧力)に対して、基礎の間隔・断面寸法・配筋量等を定めたスパン表の「SS構造体 基礎仕様マニュアル」に準拠して評価しております。

※「SS構造体 基礎仕様マニュアル」は、以下の文献等を参考に株式会社LIXILにて作成されたものです。

- ①(財)日本住宅・木材技術センター発行「布基礎のスパン表」
- ②(財)日本住宅・木材技術センター発行「べた基礎のスパン表」
- ③(財)日本住宅・木材技術センター発行「基礎の構造計算ツール解説」
- ④(社)日本建築学会発行「鉄筋コンクリート構造 計算基準・同解説」

1-1(3)ホ⑥:
建築基準法施行令の規定への適合確認

本物件は建築基準法、及び、建築基準法施行令に適合しております。

横架材の評価方法について（2階建て以下の場合）

本横架材断面計算書では、鉛直荷重（固定・積載・積雪荷重）に対して、横架材の間隔・断面寸法等が安全であることを許容応力度計算[※]にて評価しております。算定に用いる荷重・外力や対象の部材とその根拠は以下の通りとなっております。

①算定に用いる荷重・外力について

耐震等級2・3の横架材の算定方法について、「評価方法基準」では以下のように定められており、上部構造は鉛直荷重のみ考慮すれば良いことになっております。そのため、鉛直荷重のみを横架材断面算定の荷重・外力として採用しております。

◆ 平成13年国土交通省告示第1347号 評価方法基準（抜粋）

⑤ 常時又は積雪時に建築物に作用する固定荷重（令第84条に規定する固定荷重をいう。以下同じ。）及び積載荷重（令第85条に規定する積載荷重をいう。以下同じ。）並びに積雪時に建築物に作用する積雪荷重（令第86条に規定する積雪荷重をいう。へ①b(ii)において同じ。）による力が、上部構造及び基礎を通じて適切に力が地盤に伝わり、かつ、地震力及び風圧力に対し上部構造から伝達される引張力に対して基礎の耐力が十分であるように、小屋組、床組、基礎その他の構造耐力上主要な部分の部材の種別、寸法、量及び間隔が設定されていること。

②算定対象の部材について

「評価方法基準」では、「小屋組、床組、基礎その他の構造耐力上主要な部分の部材」が算定対象とされておりますが、具体的な部材が特定されておられません。そのため、同告示準拠の（財）日本住宅・木材技術センター発行「木造住宅のための構造の安定に関する基準に基づく横架材及び基礎のスパン表」に掲載されている以下の横架材を算定対象の部材としております。

根太、床の小ばり、床の大ばり、たるき、もや・むな木、小屋ばり、軒げた、胴差

※ 荷重・外力として鉛直荷重のみを考慮した許容応力度計算のため、「令第82条各号及び令第82条の4に定めるところによる構造計算」には該当していません。また、3階建て構造計算のソフトを部分的に活用しておりますので計算書に水平荷重（地震力・風圧力）に関する項目が一部記載されていることがございますが、本物件の評価上関係はございませんのでご容赦のほどをお願いいたします。